

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/23 (3/16との比較)	3/23 (3/16との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.19% (+0.06)	81.22円 (+0.33%)	+2.9% 2017年4Q	1.25%	CPIは市場予想を上回る結果。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉で、米国の自動車輸出に関する要求を取り下げたと報じられたことが好感され、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	鉱工業製品価格や景況感指数などの発表を予定。債券・為替市場は国内の良好な経済指標を背景に底堅く推移すると想定されるも、引き続き、米国の通商政策や原油価格に注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.37% (▲0.12)	31.62円 (▲2.13%)	+2.1% 2017年4Q	6.50%	中銀は0.25%の利下げを決定。目標インフレ率に到達させることを目的に、さらなる利下げ可能性を示唆。同国最大の輸出国である中国に対する米国の通商政策が嫌気され、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	財政収支や中銀の議事録などの発表を予定。政治動向を巡る不透明感などにより、レアルは重い展開が想定される中、年金改革法案の先送りが事実上決定し、財政収支悪化が市場予想を上回るとレアルは売られる展開を予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.39% (▲0.03)	5.65円 (▲0.29%)	+1.5% 2017年4Q	7.50%	総需給額は市場予想を上回る結果。NAFTA再交渉における自動車の原産地規制を巡る議論について、進展があったことが好感。国債利回りは小幅低下。ペソは対円で下落。	小売売上高などの発表を予定。足元では米国政府の保護主義的な姿勢やNAFTA再交渉の不透明感が強まる中、発表予定の貿易収支が市場予想を下回った場合はペソの重荷となると予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/23 （3/16との比較） 今後の見通し （※4）	3/23 （3/16との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.65% （▲0.04）	80.62円 （▲1.42%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	雇用者数全体は市場予想を下回ったものの、正規雇用者数は増加と経済指標はまちまちな結果。米国の中国に対する通商政策による不透明感から、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	民間部門信用などの発表を予定。中銀が議事要旨で高水準の家計債務に対して警戒感を示したため、引き続き注意が必要も、堅調な経済をもとに豪ドルはレンジ内の推移を想定。鉄鉱石価格や米国の通商政策にも注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.76% （▲0.08）	75.75円 （▲1.02%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを決定。インフレ率が短期的に低下するとの見通しを示し、緩和的な政策運営を当面継続する意向を表明。早期の利上げが見込まれない中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	企業景況感指数などの発表を予定。先週発表のサービス業指数は低下し、消費者信頼感指数は上昇するなど、経済指標はまちまち。利上げが想起されるには、インフレ率を含め経済活動が明確な上昇軌道を描く必要あり。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.89% （▲0.00）	13.51円 （▲1.52%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	原油価格が上昇したものの、利上げ期待の強まりが一服した反動などから、ノルウェークローネは対円で下落。失業率は市場予想通りの水準となり、景気の先行きに対する市場の見方が大きく変わらず、国債利回りは横ばい。	中銀が2018年夏場の利上げを示唆する中、経済指標が回復基調を辿るかが注目材料。小売売上高などの発表が予定されており、減少した前月の反動でしっかりと増加が見られれば、利上げ観測が一段と強まる見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/23 （3/16との比較）	3/23 （3/16との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.35% （▲0.11）	8.92円 （+0.82%）	+1.5% 2017年4Q	6.75%	小売売上高は市場予想を下回る結果。米大手格付機関は同国の格付けの据え置きを決定。見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げたことが材料視され、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	金融政策決定会合などを予定。インフレ率の低下が確認されることなどから、市場では利下げを想定。各種経済指標に改善は見られるものの、目先の材料に乏しいことなどから、債券・為替市場は上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.06% （▲0.09）	0.76円 （▲1.40%）	+5.2% 2017年4Q	4.25%	中銀は、政策金利を市場予想通り4.25%に据え置き。海外投資家の債券売買フローが純流入となったことなどを背景に、国債利回りは低下。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	特段重要な経済指標等の発表の予定は無し。マーケット全体のセンチメントや、米国サイドの材料に影響を受けやすい展開が予想される中、債券・為替市場は底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利低下		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.48% （+0.05）	1.61円 （▲1.30%）	+7.2% 2017年4Q	6.00%	主な経済指標の発表は無し。米国の利上げや米国の対中国通商政策による世界経済への先行き不透明感、原油価格の上昇などを受けて、ルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	財政収支などの発表を予定。利上げ観測が依然として残っていることから底堅い展開を想定するも、債券・為替市場は引き続き、米国の財政金融政策や通商政策だけでなく、原油価格の動向に左右される展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

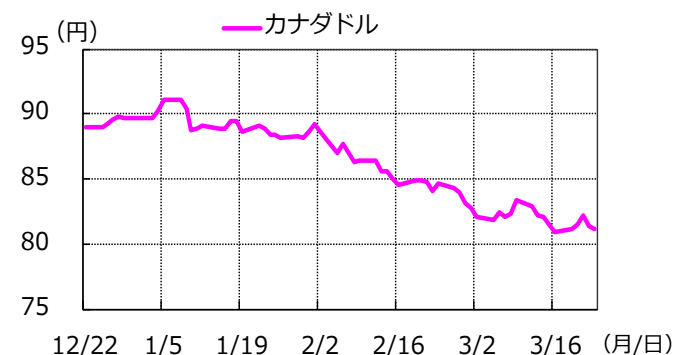
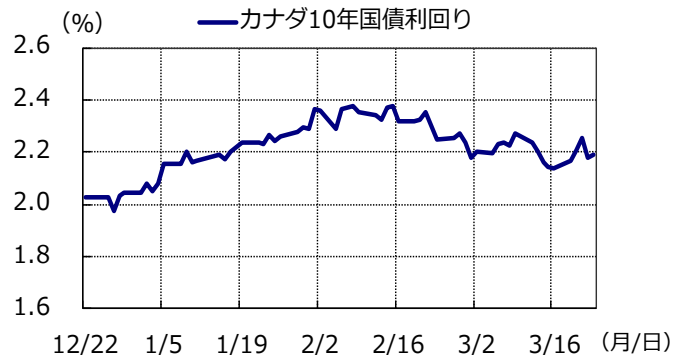
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

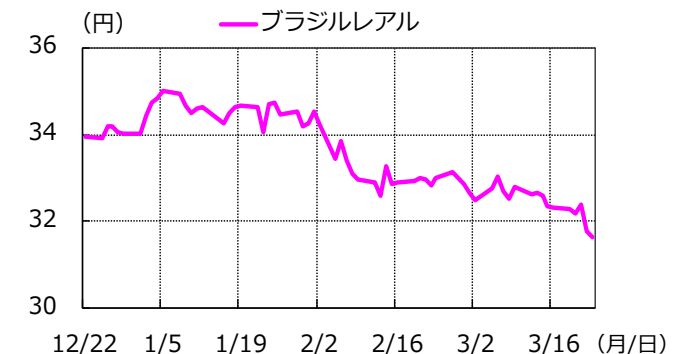
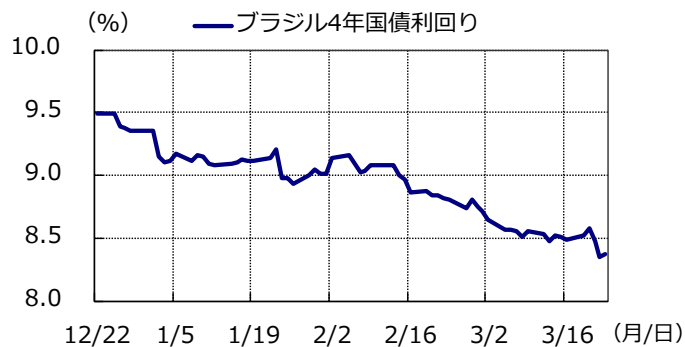
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/22～2018/3/23

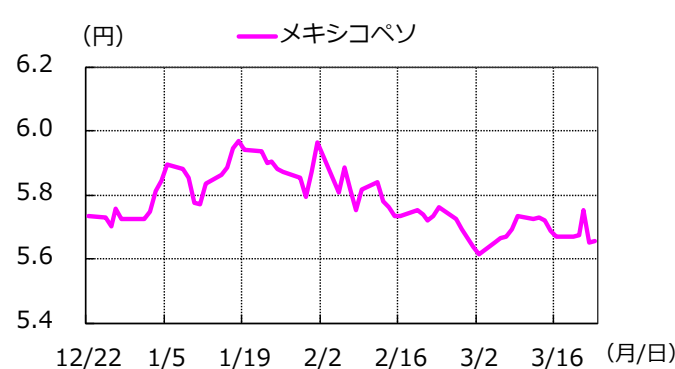
カナダ



ブラジル



メキシコ

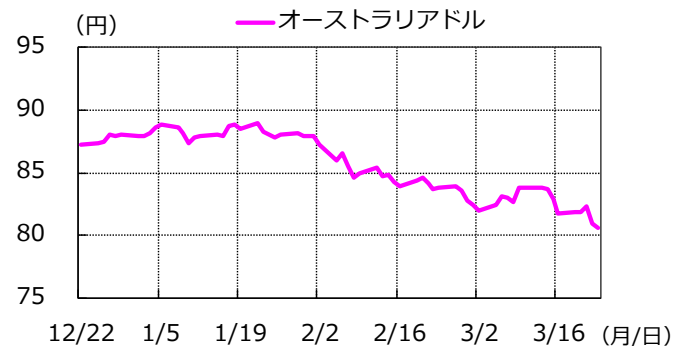
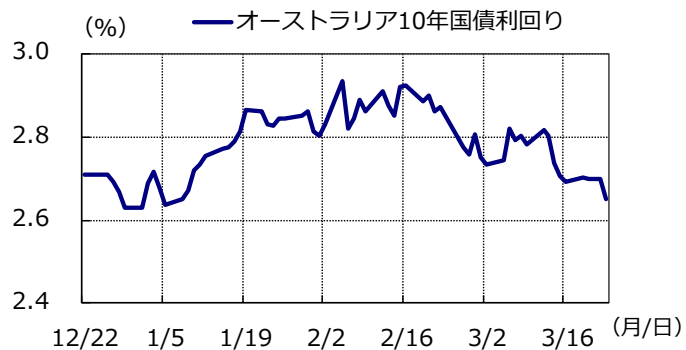


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

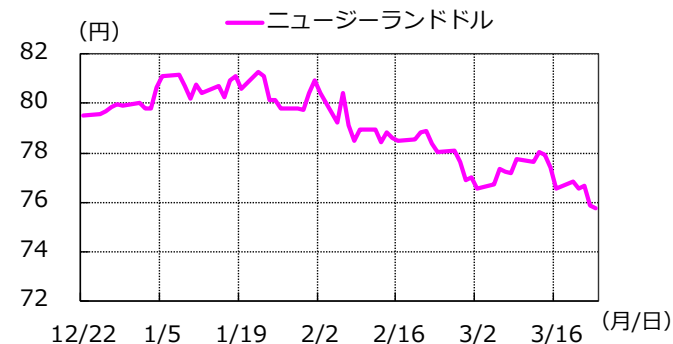
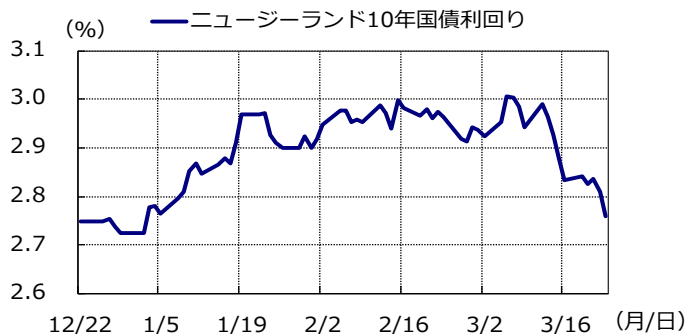
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/22～2018/3/23

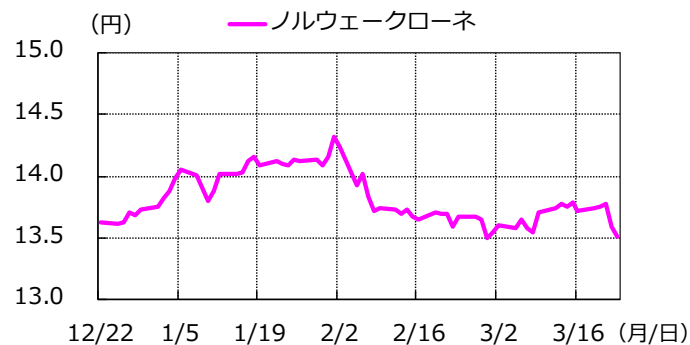
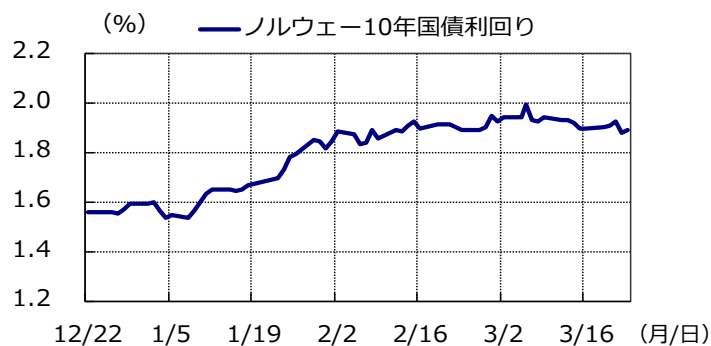
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

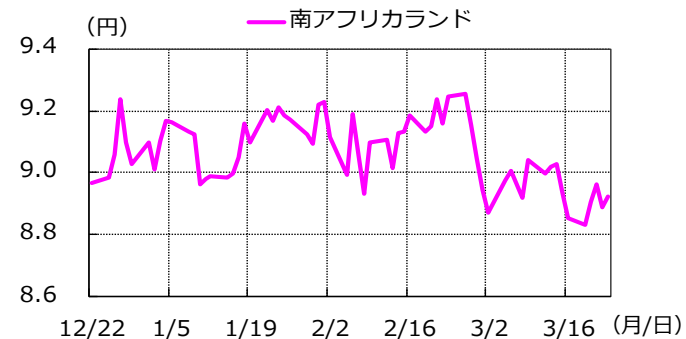


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

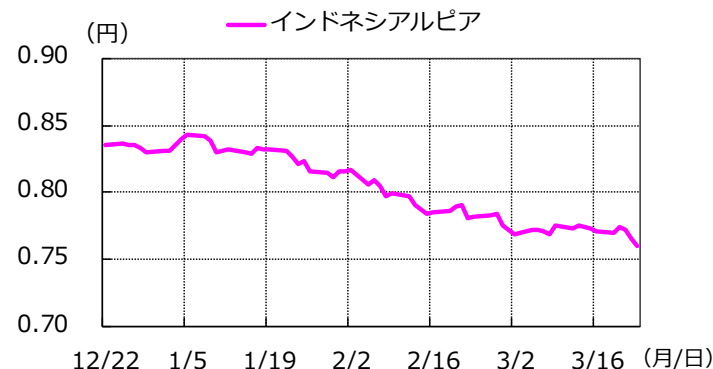
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/22～2018/3/23

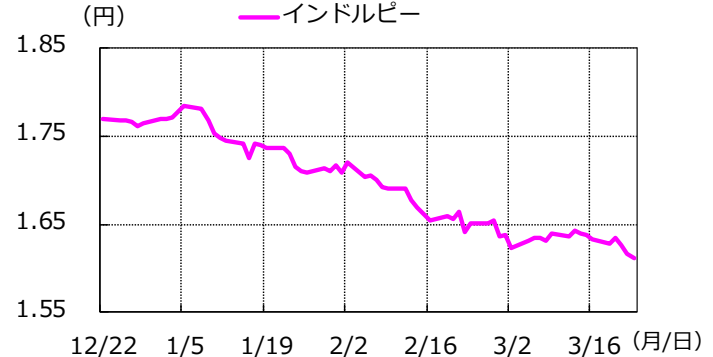
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。